

編集のあとに——発行が少しおくれたが、御覧の通りの充実した内容で、会員諸氏のもとに本号をとどけることができ、多事な一年であっただけに、感慨深いものがある。寄稿の玉崎君（第9回卒）谷内君（15回）柳野君（17回）は卒業後も初心を忘れず、多忙の生活の中から、労作をよせてくれたのは、編集委員たちの喜びである。次号には、もっと多数の卒業生会員の寄稿を、ほんとうに期待している。もし *work in progress* を持ち合っているならば、できるだけ早い機会に、研究室宛に知らしてほしい。この際、あわせて訴えたいのは、会費をかならずとどけてくれることである。ここ3、4年来会費の納入が規定通りにゆかず、機関誌の発行をまかのう会の台所がずい分貧しくなっている。本号を受け取ると同時に諸君の会費（規定の終身額完納者は本号の実費 多500）の送金を期待している。最後に、われわれは、昨年4月 藤田繁君（英文学）と 木間武俊君（アメリカ文学）を迎えて、充実した陣容となり、かつ多望の未来を約束されている。

(1970年2月1日 J.O.)

昭和45年4月20日 印刷

昭和45年4月25日 発行

発行者 金沢大学英文学会

金沢市丸の内1番1号

金沢大学法文学部

英文学研究室内

電話 62-4281

振替番号 金沢 16171

代表者 大久保 純一郎

印刷者 金沢市大手町15番8号

活文堂印刷株式会社

代表者 宇野 和男

電話 ㊟-0065